



宇治市景観計画で保全が義務づけられている宇治のシンボル景観が様変わり。保全すべき世界遺産景観が壊されて行く。

市民への説明会を拒否しながら、20億円の税金を使って「中洲のイメージ」で改変工事が強行されている。上流側が塔の島、下流側が橋島。京都府立宇治公園。宇治橋から見える橋島。毎秒1500トンの放流のために完成している護岸を「中洲のイメージ」で改変と、壊してまた作り直している。ムダな工事。2014年5月24日撮影。朝霧橋上流部と塔の島の護岸工事の見直しを要求している。

塔の川(宇治川派流)は比較的安全。現状は水辺に近寄り、親水性があるが、改変工事で2mの護岸壁となり親水性をなくし危険になる。見直しを要求している。

先日も宇治川本流で人が流され死亡。過去にも死亡例あり。宇治川本流は流れが速くて危険。この危険な宇治川本流に人を下ろして近づける計画はどう考えてもおかしいでしょう。人命尊重と景観尊重は一体のものですが、その両方に反する工事だと思います。